

## 議会報告会報告書

開催日時	平成 31 年 4 月 17 日（水）午後 7 時 00 分～8 時 15 分		
開催場所	伊勢寺地区市民センター		
出席議員	植松 泰之、中村 誠、谷口 聖、深田 龍、松岡 恒雄 野呂 一男、西村 友志		
	司会進行者	深田 龍	
	報告者	中村 誠	
	記録者	松岡 恒雄	
参加人数	33 名		
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。		

松阪市議会議長 中 島 清 晴 様

平成 31 年 4 月 22 日

議会報告会実施要綱第 8 条の規定により提出します。

議会報告会第 3 班

代表者 植松泰之

## 【第1部の主な質疑応答・意見等】

なし

## 第2部【住みよいまちづくりについての主な質疑・意見】

**問** 地域医療構想の中で、松阪市民病院職員の身分保障はどのようになるのか。

**答** 2025年問題を捉え、議会に特別委員会を設置している。市民に迷惑をかけない医療構想の構築、職員の身分を最大限に守っていくという立場で今後議論していくことに努めたい。

**問** 小学生にもわかる内容の「松阪市議会のトリセツ」を作られたが、子ども達や市民からどのような反応があったか。

**答** 税金の使い道を最後に決定するのは議会、議会に対して市民が注目することは大事であると、市民の方から新鮮に感じたとの声も頂き意義があった。小学校6年生のお子さんからも、「これから議会をみていきたい」という話も伺っている。

**問** 前回の報告会は中学校単位で開催されたが、小・中学校の保護者の世代へアピールされたことはありますか。

**答** 「地域の学校づくり」がテーマということで中学校での開催となりました。保護者の方にも参加して頂くため、これまでの周知方法に加えて中学校にも案内を出させて頂きましたが、小学校で周知の案内が徹底出来なかったことがありお詫びします。今後、議会報告会のあり方について、周知方法も含め議論を進めていきたい。

**問** 篠田山の第四墓地へ入っていく道が狭いので、道の対面の竹林を整備し、駐車場でできないか。

**答** 議会報告会終了後、場所について詳しくお聴きし、確認後、篠田山霊園所長に伝え、結果報告もさせていただく。

**問** 今は議員である当該元自治会長が委員長と同会派である。百条委員会の結末について、よく分からないので簡単に説明してほしい。

**答** 百条委員会は市の一般事務に関する調査特別委員会。  
同会派の対象者を同会派の委員長が調査することにより、調査を進める上で特に悪いことはなかった。35回の委員会とワーキングを通じ、補助金の申請段階において詐取する意図は調査の中からは見出すことは出来なかった。最終的に、補助金を受けた時に実際の交付金額と申請時に見込まれた金額との違いが明らかに分かっているのに変更の届け出をしなかったということから不正であると言わざるを得ない、という結論

が出され、3月25日の本会議で委員長報告があり議長において終結宣言を行った。  
当委員会として市長に対し、①補助金交付手続き、窓口対応等の改善 ②要綱の改正  
について事務改善等を提言した。